

三条商工会議所景況調査概況

【令和4年7月～9月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」（早期景気観測調査＜LOBO調査＞）を毎月集計した令和4年9月の結果と、三条商工会議所で3ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

- 調査対象：＜全国＞全国 331 商工会議所が 2,559 企業にヒアリング。回答数 1,997 件
＜三条地域＞会議所会員事業所 400 社を対象にアンケート調査。回答数 233 件
- DI値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）
従業員DIは（不足とする回答割合）－（過剰とする回答割合）

【全国の業況】

9月の全産業合計の業況DIは、▲23.3（前月比▲2.3ポイント）

高騰が続く資源・原材料価格に加えて、電気代のさらなる値上がりや、140円台まで進んだ円安の急伸による輸入品の価格上昇など、企業のコスト負担は増加し続けており、全業種で業況が悪化した。さらに、サービス業・小売業では物価高による消費マインドの低下、建設業では人手不足対策としての人件費増加が業況を下押しした。製造業では部品の供給不足、卸売業では台風等の天候不順による物流コストの上昇が業況を下押しした。感染状況が落ち着き、人流も回復基調にあるものの、増加し続けるコスト負担が企業経営の重荷となり、中小企業の景況感は2ヵ月連続の悪化となった。

先行き見通しDIは、▲23.7（今月比▲0.4ポイント）

全国旅行支援の再開や水際対策の緩和による客足回復の期待感が小売業・サービス業で広がる一方、物価高による収益圧迫を危惧する声が聞かれた。業種を問わず、物価上昇によるコスト増に対する十分な価格転嫁も行えていない。欧米のインフレ対策で世界経済の鈍化が顕在化する中、円安や物価上昇に歯止めがかからず、さらなるコスト負担増の懸念から、中小企業の先行きは厳しい見方が続く。

全国の9月産業別業況

【建設業】

「工事の受注段階で、今後の建設資材の値動きを予想することで、利益の確保に努めている。一方で、従業員の高齢化は依然として課題であり、ホームページの改良や工業高校へのアプローチによる人材確保で人手不足の解消と組織の若返りに繋げたい」（一般工事業）、「円安の進行もあり、資材価格の高騰に歯止めがかからない。即座の販売価格への転嫁はできないため、収益を圧迫している」（防水工事業）

【製造業】

「受注数が増えており、生産量を増やしている。しかし、製造にかかる燃料費の高騰、原材料の値上げとコストが増加しており、今までのような利益率の確保が難しくなっている」（金属製品製造業）、「半導体や電装品の調達が困難で、生産計画の見直しを実施している。生産性が低下しているため、IT化などの効率化が必要である」（金属加工機械製造業）

【卸売業】

「輸送費などのコスト負担が増える中、物価高による個人消費の冷え込みで取引先の小売店からの受注数も減少傾向である。海外向けの輸出は堅調に推移しているが、今後の世界経済の動向によっては、今まで以上に厳しい状況になることが危惧される」（食料・飲料卸売業）、「輸出費やコンテナ代の高騰が収益を圧迫する中、天候不順による青果物の価格上昇や物流コスト増加も重なり、経営が安定しない」（農畜産水産卸売業）

【小売業】

「感染状況の落ち着きで、観光客などは少しずつ戻ってきている。しかし、従来の物価高により消費者の生活必需品以外の買い控えが見られる中、急激な円安の進行でさらにコスト負担が増えており、経営状況は低迷が続いている」（各種商品小売業）、「物価高で消費者の購買意欲が低迷する中、光熱費や人件費なども上昇しており、経費の削減が難しくなっている」（総合スーパー）

【サービス業】

「宿泊・宴会・館内レストラン全て売上は増加。一方で、仕入価格の高騰や電気代の上昇による経費増加で採算は悪化した。コロナ禍で減少した従業員の補填も課題であり、人件費などでさらなるコスト負担が続く見込み」（宿泊業）、「燃料価格の高騰に伴う値上げを実施せざるを得ない状況であるが、同業他社との価格競争が激しく、慎重になっている」（郵送業）

【三条地域の業況】

（※三条地域の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。）

<http://www.sanjo-cci.or.jp>

当地域の全業種合計の業況 DI は、令和 3 年度第 2 四半期(R3 年 7～9 月)比(以後 前年同期比という)では▲15 (前期差 4 ポイント減)となった。業種別では、建設業が▲17 (前期差 1 ポイント減)、製造業が▲16 (前期差 14 ポイント減)、卸売業が▲25 (前期差 3 ポイント減)、小売業が▲34 (前期差 5 ポイント増)、サービス業が+20 (前期差 13 ポイント増)となった。前回調査に比べ、小売業、サービス業は DI 値が回復したが、建設業、製造業、卸売業は DI 値が減少で推移した。

三条地域の業種別概況

【建設業】

建設業では、前年同期比の業況 DI は▲17 (前期差 1 ポイント減)、採算 DI は▲20 (前期差±0 ポイント)、売上額 DI は▲17 (前期差 6 ポイント増)、従業員 DI は▲18 (前期差 8 ポイント減)となり、採算 DI は横ばい。売上額 DI は増加したが、業況 DI、従業員 DI は減少で推移した。

【製造業】

製造業では、前年同期比の業況 DI は▲16 (前期差 14 ポイント減)、採算 DI は▲30 (前期差 13 ポイント減)、売上額 DI は▲8 (前期差 15 ポイント減)、従業員 DI は▲1 (前期差 11 ポイント減)となり、業況 DI、採算 DI、売上額 DI、従業員 DI とも減少で推移した。

【卸売業】

卸売業では、前年同期比の業況 DI は▲25 (前期差 3 ポイント減)、採算 DI は▲19 (前期差 7 ポイント減)、売上額 DI は▲28 (前期差 12 ポイント減)、従業員 DI は+7 (前期差 7 ポイント増)となり、従業員 DI は増加したが、業況 DI、採算 DI、売上額 DI は減少で推移した。

【小売業】

小売業では、前年同期比の業況 DI は▲34 (前期差 5 ポイント増)、採算 DI は▲38 (前期差 7 ポイント増)、売上額 DI は▲28 (前期差 4 ポイント増)、従業員 DI は▲7 (前期差±0 ポイント)となり、従業員 DI は横ばい。業況 DI、採算 DI、売上額 DI は増加で推移した。

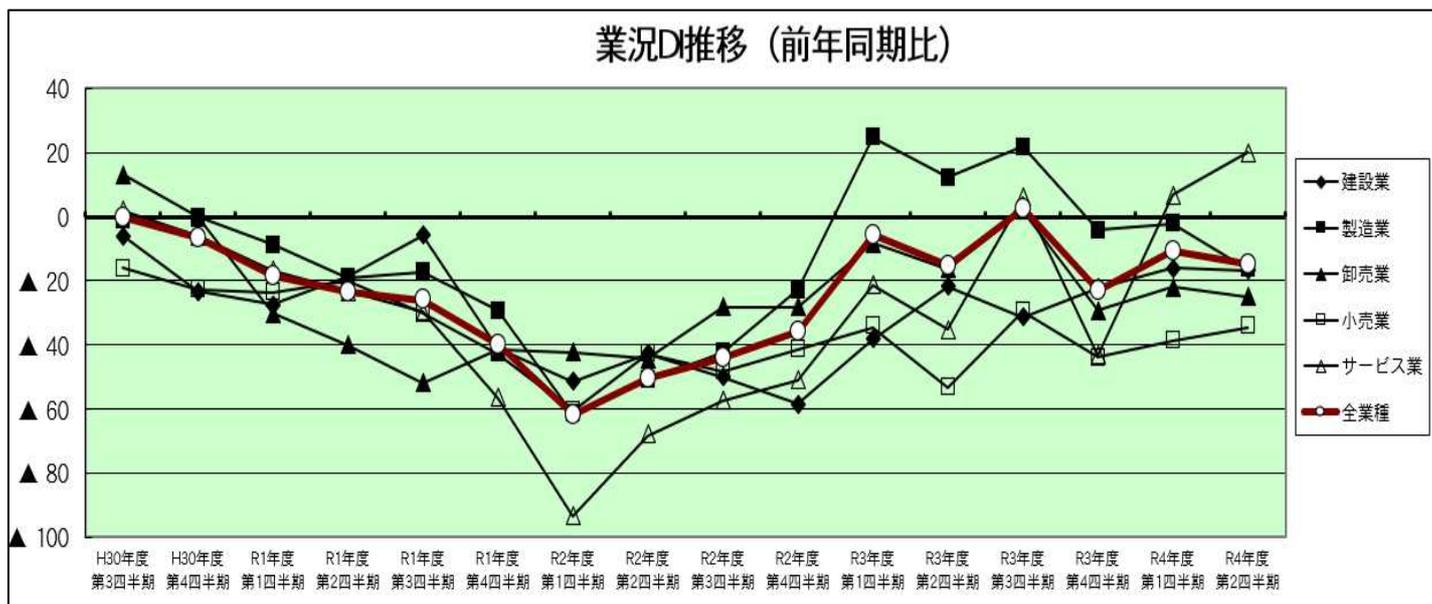
【サービス業】

サービス業では、前年同期比の業況 DI は+20 (前期差 13 ポイント増)、採算 DI は+8 (前期差 1 ポイント減)、売上額 DI は+27 (前期差 9 ポイント増)、従業員 DI は▲8 (前期差 1 ポイント減)となり、業況 DI、売上額 DI は増加したが、採算 DI、従業員 DI は減少で推移した。

三条地域の業況 DI(前年同期比)の推移 ※DI値＝「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」

	H30年度		R1年度				R2年度	
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
全業種	0	▲ 7	▲ 19	▲ 24	▲ 26	▲ 40	▲ 62	▲ 51
建設業	▲ 6	▲ 23	▲ 28	▲ 19	▲ 6	▲ 41	▲ 52	▲ 43
製造業	▲ 1	0	▲ 9	▲ 19	▲ 17	▲ 29	▲ 61	▲ 51
卸売業	13	0	▲ 30	▲ 40	▲ 52	▲ 42	▲ 42	▲ 44
小売業	▲ 16	▲ 23	▲ 24	▲ 20	▲ 30	▲ 43	▲ 61	▲ 43
サービス業	2	▲ 6	▲ 17	▲ 23	▲ 30	▲ 56	▲ 93	▲ 68
	R2年度		R3年度				R4年度	
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
全業種	▲ 44	▲ 36	▲ 6	▲ 15	3	▲ 23	▲ 11	▲ 15
建設業	▲ 50	▲ 59	▲ 38	▲ 22	▲ 31	▲ 22	▲ 16	▲ 17
製造業	▲ 42	▲ 23	25	12	22	▲ 4	▲ 2	▲ 16
卸売業	▲ 28	▲ 28	▲ 8	▲ 16	2	▲ 29	▲ 22	▲ 25
小売業	▲ 48	▲ 41	▲ 34	▲ 53	▲ 30	▲ 44	▲ 39	▲ 34
サービス業	▲ 58	▲ 51	▲ 21	▲ 35	6	▲ 43	7	20

業況DI推移 (前年同期比)

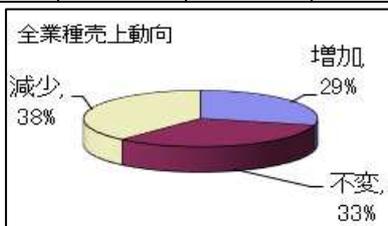


令和4年度 第2四半期(2022年7月～9月)

※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

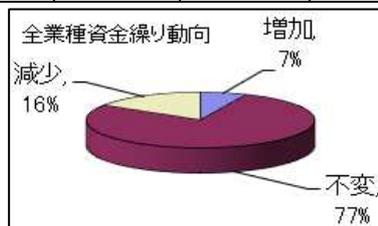
業種別売上動向（前年同期比）

業種		増加	不変	減少
全業種	件数	67	76	89
	%	29%	33%	38%
建設業	件数	7	11	12
	%	23%	37%	40%
製造業	件数	26	34	33
	%	28%	37%	35%
卸売業	件数	9	13	21
	%	21%	30%	49%
小売業	件数	6	9	14
	%	21%	31%	48%
サービス業	件数	19	9	9
	%	51%	24%	24%



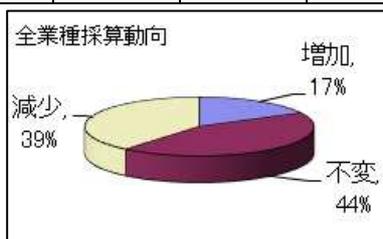
業種別資金繰り動向（前年同期比）

業種		好転	不変	悪化
全業種	件数	15	178	37
	%	7%	77%	16%
建設業	件数	1	24	5
	%	3%	80%	17%
製造業	件数	7	72	13
	%	8%	78%	14%
卸売業	件数	0	38	6
	%	0%	86%	14%
小売業	件数	0	21	8
	%	0%	72%	28%
サービス業	件数	7	23	5
	%	20%	66%	14%



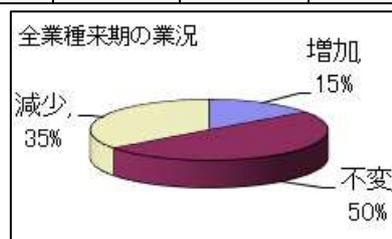
業種別採算動向（前年同期比）

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	40	101	90
	%	17%	44%	39%
建設業	件数	4	16	10
	%	13%	53%	33%
製造業	件数	12	40	40
	%	13%	43%	43%
卸売業	件数	7	21	15
	%	16%	49%	35%
小売業	件数	2	14	13
	%	7%	48%	45%
サービス業	件数	15	10	12
	%	41%	27%	32%



業種別来期(2022.10～12月)の業況(今期比の見通し)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	29	96	68
	%	15%	50%	35%
建設業	件数	2	14	9
	%	8%	56%	36%
製造業	件数	14	35	31
	%	18%	44%	39%
卸売業	件数	5	18	13
	%	14%	50%	36%
小売業	件数	2	14	5
	%	10%	67%	24%
サービス業	件数	6	15	10
	%	19%	48%	32%



日本商工会議所の全国の業況、三条地域の業況の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。
<https://www.sanjo-cci.or.jp>